

## 国立女性教育会館女性アーカイブセンター

山崎裕子（国立女性教育会館情報課情報係長（併）専門職員）

国立女性教育会館（略称・NWEC）は埼玉県の武蔵嵐山にある独立行政法人である。一九七七年、文部省の附属機関である国立婦人教育会館として開設され、現在は女性教育のナショナルセンターとして、また男女共同参画社会を実現するための推進機関として活動を行っている。

当館の女性アーカイブセンターは二〇一七年現在、国内で唯一「女性アーカイブ」の名を冠する機関で、原則として明治期以降に作成された非刊行の記録資料を扱っている。すでに歴史的評価が定まった資料だけでなく、男性による評価の陰に埋もれていた女性関連資料も収蔵することで後世にその存在を伝える役目を担っており、個人・団体から関連資料を収集・保存・提供する他、資料の目録やデジタル画像を「女性デジタルアーカイブシステム」でインターネット公開している。

女性アーカイブセンターは二〇〇八年の開設以降、様々な資料を公開してきた。以下、主な資料群を紹介する。

**稲取婦人学級資料（資料群 2）** 文部省は第二次世界大戦後、民主主義について国民の理解を深めるための社会教育に取り組んだ。その一環として、一九五四～五六年、静岡県稲取町（現・東伊豆町）に実験婦人学級が開設され、身近な生活課題について小集団による話し合い学習が行われた。この資料群は、参加者による当時の学習記録や感想文、グループでの調査記録や成果発表会のための大判グラフ、実際に学級を運営した稲取町教育委員会の作成資料等から構成されており、数多くの手書き資料から参加者たちの生活様式や学習の進め方等を窺い知ることができる。婦人学級はその後、稲取町等での成果を踏まえて各地で普及し、一九六一年頃には全国に三万以上存在したといわれている。

**第 4 回世界女性会議 NGO フォーラム北京'95（資料群 3）** 世界女性会議は、一九七五年の国際婦人年を契機に、女性の地位向上を目的として国連主催で始まった会議である。一九九五年第四回の北京会議（通称）では、アジア初の世界女性会議として政府間会議が開催され、政府や NGO 等が今後とるべき行動指針を示す「北京宣言」及び「行動綱領」が採択された。また、北京会議と並行して開催された NGO フォーラム北京'95 には民間団体の関係者らが集結した。北京会議とフォーラム全体で、一九〇か国、三万一千人以上の代表団や市民が参加したとされ、日本からも各都道府県・政令指定都市教育委員会、女性問題担当部局、民間団体等の関係者ら約五千人が北京へ飛んだ。この資料群は、NWEC が現地で収集した北京会議のポスターやワークショップの資料、写真等からなり、女性主体の会議が前例のない規模で開かれたことに対する当時の熱気を今に伝えるものとなっている。

**全国婦人新聞社取材写真コレクション（資料群 1 2）** 「全国婦人新聞」は、一九五〇年から二〇〇六年まで、全国婦人新聞社が刊行していた女性問題専門紙である（一九九五年以降は「女性ニュース」として刊行）。同紙の記者が取材・撮影した写真のうち、一九七

六年から二〇〇六年までの三〇年分、三万点を超えるプリント及びネガフィルムがアーカイブセンターの資料群となっている。国連総会によって一九七六年から一九八五年までが「国連婦人の十年」とされ、その後も男女雇用機会均等法制定（一九八五年）、北京会議など女性の権利向上に関わる数々の出来事が起こった時期に撮影された膨大な写真は、日本各地で有名無名を問わず様々な個人・団体が集い、男女の平等な権利実現に向けて活発に動き、記者のインタビューに応じた姿を捉えている。

**奥むめおコレクション（資料群14）** 主婦連合会（主婦連）創設者、日本初の女性参議院議員の一人であり、大正から昭和にかけて暮らしに根づいた女性運動を展開したことも知られる奥むめお（一八九五～一九九七）に関する資料約千点からなるコレクションである。主婦連合会に関する資料を中心に、文書、新聞記事、雑誌、写真（含アルバム）、音声・動画資料、チラシ・ポスター等から構成されている。

奥の長女で元主婦連会長の中村紀伊が二〇一六年に他界したことをきっかけに、アーカイブセンターへ資料が追加で寄贈されることとなり、現在整理中である。

## 利用案内

<所在地> 〒三五五-〇二九二 埼玉県比企郡嵐山町菅谷七二八

<電話> 〇四九三-六二-六七二八

<Eメール> infodiv@nwec.jp

<ホームページ> <https://www.nwec.jp/facility/archivecenter.html>

<交通> 東武東上線武蔵嵐山駅から徒歩十二分。駐車場あり。

<休館日> 会館休館日、日曜日、年末年始。

<開館時間> 九時～一七時（出納受付は一六時三〇分まで）。

<料金> 閲覧は無料。複写については要問合せ。